

厚生文教委員会報告書

令和8年3月12日

備前市議会議長 西 上 徳 一 殿

委員長 中 西 裕 康

令和8年3月12日に委員会を開催し、次のとおり調査研究したので議事録を添えて報告する。

記

<所管事務調査>

- ▶ 後期高齢者医療保険料の急激な上昇抑制に向けた後期高齢者医療財政安定化基金の活用を求める意見書（案）について

《 委員会記録目次 》

招集日時・出席委員等	1
開会	2
所管事務調査（保健福祉部）	2
閉会	3

厚生文教委員会記録

招集日時	令和8年3月12日（木）		予算決算審査委員会閉会后	
開議・閉議	午後4時54分	開会	～	午後5時1分 閉会
場所・形態	委員会室	会期中（第1回定例会）の開催		
出席委員	委員長	中西裕康	副委員長	青山孝樹
	委員	土器 豊		守井秀龍
		立川 茂		藪内 靖
		奥道光人		草加忠弘
欠席委員		なし		
遅参委員		なし		
早退委員		なし		
列席者等		なし		
傍聴者	議員	なし		
	報道関係	あり		
	一般傍聴	なし		
説明員	保健福祉部長 兼福祉事務所長	芳田 猛	保健課長	阿部礼子
審査記録	次のとおり			

午後4時54分 開会

○中西委員長 皆さん、お疲れさまです。

ただいまの御出席は8名でございます。定足数に達しておりますので、これより厚生文教委員会を開会いたします。

本来ならば厚生文教委員会はよほどのことがない限り開かないということでありましたが、本日は後期高齢者医療保険料の急激な上昇抑制に向けた後期高齢者医療財政安定化基金の活用を求める意見書についてを議題としたいと思います。

過去の議会運営の中で、委員会で論議がされず最終日に動議が議員の方からかけられ採択されるというようなことが何回かありました。やはり所管の委員会でもって一応諮って、結果の判断の是非は別として、諮るということが私は大切だと思いますので、厚生文教委員会を開催させていただきました。

今皆さんのお手元にあります意見書案は、岡山市、倉敷市のほうで協議がされ、このようなものが作られ、そして今幾つかの自治体の中ではこういった案文をどうするかということで案件をどうするかということで議論が行われるところであります。備前市もどうするかということは、この厚生文教委員会で1度是非は別として諮っておきたいと思います。

では、議事に入ります。

後期高齢者医療保険料の急激な上昇抑制に向けた後期高齢者医療財政安定化基金の活用を求める意見書が岡山市議会事務局より送付がありましたので、委員会として皆様の御意見をお伺いしたいと思います。

発言を希望される方は挙手で願います。

○立川委員 岡山県では岡山市、倉敷市というところで意見書出されるということのお話を聞いてるんですが、この意見書の案を見させていただいたんですけど、今県のほうの基金が3.9億円とお聞きをしておりますが、そのうちから金額的な目標が出てない。前回は10億円基金の取崩しということだったんですけど、今回これ出すことには賛成なんですけど、金額的なものは入れなくてもいいんでしょうか。

○中西委員長 ちょっと執行部では答えられない。

○立川委員 どうしたらいいですか。それが入ったたらもうマルでしょうけど、基金を活用されるよう強く要望すると文章で止められていいのかなという気がしたんですけど、それだけがちょっと気になったんですけど、どうしたらいいんでしょう。出すことには賛成なんですけど。

○守井委員 後で調べてもろうて、後で報告だけしてあげて。年金なら、それ聞いたら分かるじやろう。

○奥道委員 ここに書いてあるんです。

○立川委員 令和2年、3年、それから4年、5年、6年、7年はそれぞれ10億円の取崩しがあったと、今回についてはその金額要求はないので。

○守井委員 じゃから、何ぼ要求しとんかというのを聞かにや分からん。

○芳田保健福祉部長 そういう要求してない。

○守井委員 要求してないんか。

○立川委員 だからどうかなと思うて。

○守井委員 要求してないんじゃ、ほんなら金額は。

○立川委員 備前市としてどうするかなというところの問題提起でございます。

○守井委員 付け加えるわけにいかんのじゃろう、文章を。この文章でどうかと判断せにやいけんから。

○中西委員長 これだと、やっぱし10億円前後というふうには考えてもいいんじゃないですか。これまで10億円の基金の活用に同意してきた実績もあるという、あと具体的な金額については県のほうに御判断をいただくということになるんじゃないでしょうか。

○立川委員 それでいいんならいいですけど。

○阿部保健課長 ここのところ基金は崩しておりません。書きぶりとしては29年に積み上げて、そこから積み上げておりません。崩して、基金の投入はしておりません。だから、崩してくださいという要望はしてますけど、実際には崩してないところが現状です。

○立川委員 今御説明があったように2年、3年度と4年、5年は活用に同意してきた実績もあるけど実際は取り崩してないという確認みたいですから、ちょっとよく読んだらよかったんですけど、要望はしたけども取崩しはしてないよと、今回金額なしで活用してくださいということであれば別に問題はないと思います。

○中西委員長 だけど、要望してたということですよ。県も、そのときは同意をしていた。しかし、取り崩す必要がなかったということになるわけですね。ほかに皆さんの御意見いかがですか。

○奥道委員 もう提出していただくことに特に問題ないと思いますから、ぜひよろしくお願ひします。

○中西委員長 委員会発議ということでよろしいでしょうか。よろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、厚生文教委員会として発議を申し上げることに賛成の方の挙手を願います。

〔賛成者挙手〕

全会一致ということで、委員会として発議を申し上げることにいたします。

以上で厚生文教委員会を終了いたします。

皆さん、大変お疲れさまでした。

午後5時01分 閉会